



経営課題 1 安全・安心のまちづくり



防災のまちづくり

めざすべき将来像
 最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

全区民が災害への備えをし、避難行動でできる状態

現状 <課題設定の根拠となる現状・データ>

災害が起きた時の動きや避難する場所を知っている区民の割合*

年度	割合
H30	76%
R1	77%
R2	81%

※2年度区民アンケートにおいて「知っている」と回答した区民の割合

災害への備えを意識している区民の割合*

年度	備えをしている	備えをしようとしている	合計
H30	61%	25%	86%
R1	66%	22%	88%
R2	69%	21%	90%

※2年度区民アンケートにおいて「何かひとつでも災害への備えをしている」「備えをしようと思っているが今はまだしていない」と回答した区民の割合

要因分析
 <めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 災害時には、一人ひとりの意識と、日頃からの備え及び避難行動が重要であるが、区民アンケートでは、対象者の約2割が「備えをしようと思っているが今はまだしていない」と回答した。防災意識は見られることから、備えを行うための知識やきっかけが少ない可能性がある。

課題 <上記要因を解消するために必要なこと>

- 災害時の備えなど意識と行動が伴うよう、区民に対して、防災・減災の知識を高める啓発活動を進める必要がある。

防犯のまちづくり

めざすべき将来像

全区民が防犯を意識し、街頭における犯罪を抑止する環境が整っている状態

現状

大阪重点犯罪5手口の区内犯罪発生件数

年度	発生件数
H30	173件
R1	124件
R2	89件

(大阪府犯罪統計資料より)

犯罪5手口とは
 ひったくり、路上強盗、自動車盗、車上ねらい、部品ねらい

都島区内の特殊詐欺被害の状況

年度	被害件数
H30	18件
R1	24件
R2	20件

(大阪府警本部資料より)

要因分析

- 警察や地域と連携した啓発等に取り組むことで、大阪重点犯罪5手口及び高齢者等を狙った特殊詐欺の被害件数が減少しているものの、依然として被害が発生していることから、幅広い区民への啓発活動が行き届いていないことが考えられる。

課題

- 警察や地域と連携し、区民の防犯意識の向上に取り組むとともに、犯罪を起こしにくい環境整備にも取り組む必要がある。

安全で美しいまちづくり

めざすべき将来像

ごみのポイ捨てや放置自転車が減少し、喫煙マナーが守られるなど環境に優しく、誰もが安全に通行ができる状態

現状

市民協働による啓発等の取組は、区民の環境美化意識の向上につながっていると思う区民の割合*

81%

※2年度区民アンケートにおいて「思う」「どちらかと言えば思う」と回答した区民の割合

・京橋地域を「路上喫煙禁止地区」に指定(27年2月)

京橋地域の路上喫煙マナーが向上したと感じる区民の割合*

年度	割合
H30	49%
R1	61%
R2	51%

※2年度区民アンケートにおいて「すごく感じる」「ある程度感じる」と回答した区民の割合

要因分析

- 啓発活動による一定の効果が見られるものの、受動喫煙やごみのポイ捨てのほか、放置自転車等により、区民・来街者に不快感などを抱かせている可能性がある。

課題

- 歩行者が安全に通行できる環境を整えるために、市民協働型の啓発による区民等の環境美化意識の向上に取り組む必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

(This area is currently blank in the provided image.)



1-1 防災のまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間で念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞	戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題	
区民が自助・共助の役割を認識し、日頃から災害への備えができてきている状態	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座等での啓発や、広報誌、SNS等の様々な媒体を活用した情報発信を行うなど区民の防災意識の向上に取り組む。 地域の防災訓練の支援や、人材を含めた地域資源を活用し、地域の防災力の向上に取り組む。 				
	アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞	前年度	今年度	個別評価	全体評価
	区民アンケートにおいて、災害への備え（自助）ができていないと回答した区民の割合 5年度までに75%以上				
	区民アンケートにおいて、災害が起きた時に避難する場所を知っていると回答した区民の割合 5年度までに85%以上				
	区民アンケートにおいて、地域住民同士による助け合い（共助）の重要性について認識していると回答した区民の割合 5年度まで60%以上を維持				
				今後の対応方向	

具体的取組1-1-1 自助の取組みの推進

2決算額	256千円	3予算額	1,585千円	4予算額	605千円
取り組むこと					
日頃からの災害への備えや、迅速な避難行動につなげていくため、高齢者や子育て層など支援が必要な世帯に向けた啓発活動や、広報誌、SNS等を活用した情報発信に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
① 高齢者・子育て層、マンション自治会等に向けた出前講座 6回 ② 区内で開催されるイベント等における啓発 1回 ③ 小中高生への防災講座 1回 ④ 広報誌、ホームページ、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信 9回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
災害への備えの重要性に対する意識が高まったと感じる出前講座受講者の割合 70%以上 【撤退・再構築基準】50%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
3年度実績 ・広報みやこじまを活用した防災マップ等の周知 8回 ・出前講座での啓発 10回 ・土曜授業等を活用した小中高生への啓発 1回 ・災害への備え（自助）などSNSを活用した啓発 17回					

具体的取組1-1-2 共助の取組みの推進

2決算額	1,029千円	3予算額	1,912千円	4予算額	988千円
取り組むこと					
地域防災力の向上を図るため、地域が実施する防災訓練の支援や地域防災リーダーの育成に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
① 地域、行政、関係機関と連携した防災訓練 1回 ② 地域防災リーダー研修 1回 ③ 地域やマンション自治会の自主防災組織への支援 9回 ④ 大規模災害時協力事業所、津波避難ビル等の連携にかかる区内企業・事業者への協力要請 2事業所 ⑤ 広報誌、ホームページ、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信 9回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
共助の大切さが理解できたと感じる地域主体の防災訓練参加者の割合 70%以上 【撤退・再構築基準】50%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
3年度実績 ・地域防災リーダー研修 3回 ・地域防災訓練への支援 11回 ・マンション等防災組織への支援 2回 ・大規模災害時協力事業所登録 4事業所 ・SNSなどによる啓発 24回					



1-2 防犯のまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞	戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題		
街頭における犯罪を防止し、犯罪に巻き込まれない安全で安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> 区民の防犯・交通安全意識の向上を図るため、防犯カメラの設置や青色防犯パトロール車による巡回に加え、警察と連携した市民協働による啓発活動を推進するとともに、地域安全センターの活用や広報誌、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信に取り組む。 					
	アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞ 区民アンケートにおいて、区民の防犯意識の向上が街頭における犯罪の発生抑止につながっていると感じると回答した区民の割合5年度までに70%以上を維持	前年度	今年度	個別評価	全体評価	今後の対応方向

具体的取組1-2-1 警察等と連携した防犯活動

2決算額	2,716千円	3予算額	3,199千円	4予算額	2,594千円
取り組むこと					
青色防犯パトロール車による巡回や警察と連携した防犯啓発等に取り組むとともに、様々な広報媒体を活用した防犯情報の発信や街頭犯罪を抑止する環境整備に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①警察等と連携した防犯啓発 6回 ②出前講座等による防犯啓発 通年 ③高齢者に向けた特殊詐欺防止啓発 1回 ④地域安全防犯カメラ設置 5台 ⑤広報誌、ホームページ、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信 6回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
警察と連携した防犯啓発や青色防犯パトロールの巡回、防犯カメラの設置による取組みが、防犯意識の向上につながっていると感じると回答した参加者の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
3年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> 特殊詐欺防止などSNSを活用した啓発 16回 犯罪発生情報などSNSを活用した情報発信 24回 地域安全センターを活用した防犯情報発信 6回 警察と連携したメロディパトロール 5回 ひったくり防止キャンペーン 6回 警察と連携した特殊詐欺防止キャンペーン 10回 					

具体的取組1-2-2 交通マナーアップの啓発

2決算額	4千円	3予算額	20千円	4予算額	20千円
取り組むこと					
警察と連携し、交通事故の防止や自転車マナーアップの啓発等に取り組むとともに、様々な広報媒体を活用した交通安全情報の発信に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①交通安全教室等の実施 5回 ②地域の方々に向けた交通安全教室等の実施 5回 ③警察等と連携した交通安全街頭啓発 2回 ④地域と連携した自転車マナーアップ啓発 2回 ⑤広報誌、ホームページ、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信 6回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
交通安全教室や街頭啓発、自転車マナーアップ啓発等の取組みが交通事故防止につながっていると回答した交通安全大会参加者の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
3年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の事故防止や自転車マナーアップなどSNSを活用した啓発 14回 通学路安全点検 8回 ラミネート設置自転車による巡回啓発 通年 高齢者向け交通安全出前講座 2回 警察と連携した交通安全街頭啓発 2回 交通安全功労者感謝状贈呈式 1回 					



1-3 安全で美しいまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞				戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題	
区民の環境美化意識が向上し、路上喫煙やポイ捨てごみの減少による美しいまち	<ul style="list-style-type: none"> 放置自転車や居酒屋などの違法な客引行為の防止のほか、「路上喫煙禁止地区」における喫煙マナーの向上に向け、市民協働による啓発活動を推進する。 区民等の環境美化意識の向上を図るため、広報誌やSNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信を行う。 							
	アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞				前年度	今年度	個別評価	全体評価
	区民アンケートにおいて、市民協働による啓発等の取り組みが区民や来街者の環境美化意識の向上につながっていると感じると回答した区民の割合 5年度までに85%以上							
							今後の対応方向	

具体的取組1-3-1 環境美化の推進

2決算額	19千円	3予算額	2,772千円	4予算額	2,710千円
取り組むこと					
地域、企業、商店会等と協働し、ボランティア清掃活動を推進するとともに、環境美化意識の向上を図るための啓発活動に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①市民協働型の地域清掃活動（区内一斉清掃活動「都島クリーン作戦」、毛馬桜之宮公園内での清掃活動「大川かたづけ隊」など） 月1回 ②京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会主体の啓発活動 月2回 ③環境美化意識向上を高めるSNS等による情報発信 3回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
ボランティア清掃等の環境美化活動が環境美化意識の向上につながると感じる環境美化活動参加者の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満					
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間					
年度末					
前年度までの実績					
3年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> 京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会によるマナー啓発活動 8回 環境美化意識の向上などSNSを活用した啓発 21回 京橋駅周辺の清掃活動 9回 市民協働型の清掃活動 7回 					

具体的取組1-3-2 路上喫煙禁止地区の啓発

2決算額	1,126千円	3予算額	1,893千円	4予算額	1,420千円
取り組むこと					
京橋地域の「路上喫煙禁止地区」の制度周知や、ポイ捨て防止など喫煙者マナーの向上を図るための啓発活動に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①市民協働型の路上喫煙禁止地区での啓発活動 6回 ②区役所内電子掲示板や区内の広報版等を活用し、路上喫煙禁止地区エリアマップ等の掲載 通年 ③喫煙者のマナー啓発ポスターを作成し、区内に掲示 1回 ④ホームページ、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信 3回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
京橋地域の「路上喫煙禁止地区」が区民・来街者に浸透したと感じる環境美化活動参加者の割合 51%以上 【撤退・再構築基準】30%未満					
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間					
年度末					
前年度までの実績					
3年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働型の路上喫煙禁止の啓発活動 3回 区役所電子掲示板へエリアマップ等の掲載 通年 京橋駅前にてポイ捨てなどの清掃活動 9回 喫煙者マナーの向上などSNSを活用した啓発 4回 					

経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり



コミュニティ豊かなまちづくり

めざすべき将来像

これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしながら、若い世代やマンション住民など、より幅広く人と人とがつながり、身近な地域の中で生活課題の解決に取り組むなど、地域コミュニティが活性している状態

現状

お住まいの地域で日頃から近所どうして「見守り・支え合い」等が行われていると感じる区民の割合※

H30	39%
R1	41%
R2	47%

※2年度区民アンケートにおいて「感じる」「ある程度感じる」と回答した区民の割合

地域活動協議会を知っている区民の割合※

H30	36.7%	上段：都島区
	39.2%	下段：市平均
R1	35.2%	
	38%	
R2	48.8%	
	49.8%	

※2年度区民アンケートにおいて「知っている」と回答した区民の割合

要因分析

- 個人の生活様式や価値観の多様化、新たな生活様式を求められるなど、人と人とのつながりが依然として希薄である。
- 地域活動等への参加が少ない地域や、地域特性に応じた取組が進んでいない地域がある。

課題

- これまで地域と関わりが少なかった若い世代やマンション住民をはじめ、人と人につながる機会の提供が必要である。
- 地域の实情に即したきめ細やかな支援などを行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営を推進することが必要である。

いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

めざすべき将来像

- 地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域住民がお互いに見守り活動を行うことにより、安心して生活できる状態
- 区民がいきいきと健康で生活することができる状態

現状

地域福祉コーディネーターによる相談・訪問等活動件数

H29	9,154件
H30	9,025件
R1	10,831件
R2	14,218件

要因分析

- 地域コミュニティの希薄化を背景に、福祉課題の「複雑化・多様化・深刻化」が進み、支援につながらず、地域で埋もれている要援護者に対する支援の必要性が大きくなってきている。さらに、感染症拡大下における要援護者への対応も求められている。

課題

- 大阪市地域福祉基本計画の基本目標である「気にかける・つながる・支えあう地域づくり」をめざしつつ、「複雑化・多様化・深刻化する課題に対応するため、関係機関等と連携し、必要な支援をコーディネートする体制が必要である。

安心して子育てできるまちづくり

めざすべき将来像

- 母乳・授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態
- 子育て世代の保護者が、身近なところから支援を受け、子育てを楽しんでいることができる状態

現状

「子育て支援室」を知っている区民の割合※

R1	32%
R2	60%

※2年度区民アンケートにおいて「知っている」「名前だけ知っている」と回答した区民の割合

保護者へのアンケート

子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人がいない

都島区	10.7%
市平均	8.9%

(子どもの生活に関する実態調査(28年度実施))

要因分析

- 子育てに不安を感じる保護者が、相談できる場所が分からず地域で孤立する傾向にある。また、感染症への対応やライフスタイルの変化によって、対面での相談がしづらいケースがある。

課題

- 子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、子育ての不安感・負担感を軽減するため、地域の子育て情報を周知するとともに、虐待相談を含む相談窓口を拡充する必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括



2-1 コミュニティ豊かなまちづくり

めざす状態 <概ね3～5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>	戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題								
<ul style="list-style-type: none"> 防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその他地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態 	<ul style="list-style-type: none"> イベント開催などにより、これまで地域との関わりが少なかった若い世代の関心を高め、あらゆる世代が参加し、人と人がつながる機会を提供する。 地域の実情に即したきめ細やかな支援を行い、多くの住民が安心して参加できるようまちづくりセンター等の支援を通して、地域活動協議会の自律的な地域活動・運営を推進する。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>前年度</th> <th>今年度</th> <th>個別評価</th> <th>全体評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	前年度	今年度	個別評価	全体評価	87%					<p>今後の対応方向</p>
前年度	今年度	個別評価	全体評価									
87%												
アウトカム(成果)指標<めざす状態を数値化した指標>		まちづくりアンケートにおいて、地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思うと回答した割合 5年度までに90%以上										

具体的取組2-1-1 地域コミュニティの推進

2決算額	1,920千円	3予算額	9,178千円	4予算額	9,233千円
取り組むこと					
区民まつりを区民参画型で開催し、区民が企画、運営、広報などを主体的に行えるよう実行委員会を支援することで、人材育成、交流促進、コミュニティ育成につなげる。また、地域活動の情報発信を積極的に行うことで、地域活動への理解促進に取り組む。					
計画(取組内容)		中間振り返り		年度末(取組実績)	
①区民まつり 1回(9月開催予定) ・新規参画者拡大の促進 ・住民間交流の促進 ②地域活動の情報発信 ・広報誌やSNSを活用した情報発信 年12回以上					
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>		中間振り返り		達成状況	
①区民まつりへの参加が地域とつながる機会となったと感じる参加者の割合 63%以上 【撤退・再構築基準】40%未満 ②区民アンケートにおいて、広報みやこじまやSNSによる啓発がコロナ禍での地域活動への理解促進に有効と感じる区民の割合 50%以上 【撤退・再構築基準】30%未満					
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間					
年度末					
前年度までの実績					
3年度実績					
①新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止(参考)元年度実績 区民まつり(9月) 参加者数約32,000人、参画者2,002人 ②広報誌やSNSを活用した情報発信 年10回					

具体的取組2-1-2 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進(改革の柱4-1)

2決算額	29,109千円	3予算額	40,712千円	4予算額	40,317千円
取り組むこと					
地域活動協議会の活動を効果的に支援し、より多くの住民参加による自律的な地域運営の実現をめざす。					
計画(取組内容)		中間振り返り		年度末(取組実績)	
①地域活動協議会補助金の交付による財政的支援 9地域 ②中間支援組織(まちづくりセンター)による活動の支援 通年 ・フェイスブック等SNSなど広報媒体で地域活動協議会の活動等の情報発信 各地域1回以上 ・他地域活動事例(他区地域も含む)の共有会議の開催 1回以上 ・地域活動協議会の会計支援等に向けた事業担当者などへの会議の開催 1回以上					
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>		中間振り返り		達成状況	
地域活動協議会の構成団体が自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合 91%以上 【撤退・再構築基準】50%未満					
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間					
年度末					
前年度までの実績					
3年度実績					
①地域活動協議会補助金の交付 9地域 ②中間支援組織による活動の支援 ・フェイスブック等SNSなど広報媒体で地域活動協議会の活動等の情報発信 86回 ・他地域活動事例の共有 9地域(他区地域も含む) ・地域活動協議会の事業担当等への会計支援 9地域					



2-2 いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞	戦略の 進捗状況	戦略のアウト カムに対する 有効性	課題												
<ul style="list-style-type: none"> 地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域において見守り活動が効果的に行われ、安心して生活ができると感じられる状態 母乳育児等に関する育児不安が軽減され、親子の健全な絆が育まれるとともに子どもの安らかな発達が促進される状態 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動が自主的かつ円滑に進むよう支援体制を整備する。 ワーキングマザーなど様々なライフスタイルに応じた支援体制や、身近な授乳や子育ての相談体制を整備する。 															
					アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞ <table border="1"> <thead> <tr> <th>前年度</th> <th>今年度</th> <th>個別評価</th> <th>全体評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">区民アンケートにおいて、地域の見守り活動があることによって、安心して暮らし続けられると思うと回答した区民の割合 5年度までに 70%以上</td> </tr> <tr> <td colspan="4">3か月健診時に、多くの不安を感じることなく過ごせていると思う母親の割合 5年度までに 94%以上</td> </tr> </tbody> </table>	前年度	今年度	個別評価	全体評価					区民アンケートにおいて、地域の見守り活動があることによって、安心して暮らし続けられると思うと回答した区民の割合 5年度までに 70%以上		
前年度	今年度	個別評価	全体評価													
区民アンケートにおいて、地域の見守り活動があることによって、安心して暮らし続けられると思うと回答した区民の割合 5年度までに 70%以上																
3か月健診時に、多くの不安を感じることなく過ごせていると思う母親の割合 5年度までに 94%以上																
				今後の対応方向												

具体的取組2-2-1 地域福祉コーディネーターによる福祉相談の充実や見守り体制の強化

2決算額	10,869千円	3予算額	10,869千円	4予算額	11,158千円
取り組むこと					
「気にかける・つながる・支えあう」見守り体制の強化をめざし、地域の身近な相談窓口として、関係機関とのつなぎ役や制度の狭間に埋もれている人を発見する機能のほか、地域の見守りの中心となり「要援護者の見守りネットワーク強化事業」の名簿を活用した、見守りを行う。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
地域福祉コーディネーター ・9地域10名 ・訪問・相談等 年間240日 ・要援護者名簿の管理や整備、見守りの担い手の支援等 ・活動時間 1日あたり4時間					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
地域福祉コーディネーターによる相談・訪問等活動件数 年間7,200件以上 【撤退・再構築基準】4,400件以下					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
1～3年度実績の平均 ・地域福祉コーディネーターによる相談・訪問等活動件数 12,718件					

具体的取組2-2-2 妊娠期からの親子のきずなはぐくみ支援

2決算額	526千円	3予算額	850千円	4予算額	757千円
取り組むこと					
就労妊婦や多胎妊婦が不安なく出産・育児が行えるよう支援するとともに、産後の授乳や子育てについて相談しやすいよう身近な地域等で講座や教室を行う。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①プレワーキングマザー対象出産直前講座 6回(土曜日午前)巡回 ②母乳子育て教室 概ね毎月3回30回程度 ③ふたごちゃん・みつごちゃんのプレパパプレママ教室 2回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
育児に関して役に立ったと回答した参加者の割合 80%以上 【撤退・再構築基準】50%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
3年度実績 ・プレワーキングマザー対象出産直前講座 4回 65名 (2回中止) ・母乳子育て教室 23回 129名 (9回中止) ・ふたごちゃん・みつごちゃんのプレパパプレママ教室 2回 16名					